



# 地球温暖化防止に向けた取り組み

## 2013年度の温室効果ガス排出実績

### 2013年度のCO<sub>2</sub>排出実績

2013年度は、原町火力発電所の復旧に伴い、石炭火力の発電量が前年度より増加したものの、水力発電量の増加や販売電力量の減少により火力発電量が減少したことから、調整前CO<sub>2</sub>排出量は前年度比91万トン減(2.0%減)の4,580万t-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>排出原単位は同1.5%減の0.591kg-CO<sub>2</sub>/kWhとなりました。

一方、京都議定書第一約束期間(2008～2012年)の終了に伴い、前年度と比べてCO<sub>2</sub>クレジットの反映量が減少したことから、CO<sub>2</sub>クレジット等反映後のCO<sub>2</sub>排出量は前年度比207万トン増(4.7%増)の4,563万t-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>排出原単位は同5.2%増の0.589kg-CO<sub>2</sub>/kWhとなりました。

当社では、低炭素社会の実現において原子力発電は重要な電源であると考え、原子力発電所のさらなる安全レベルの向上にハード・ソフトの両面から継続的に取り組んでまいります。また、引き続き、火力発電の熱効率維持・向上、再生可能エネルギーの利用拡大、さらにはお客さまの省エネ・省CO<sub>2</sub>の取り組み支援など、電力の需給両面でのCO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでまいります。

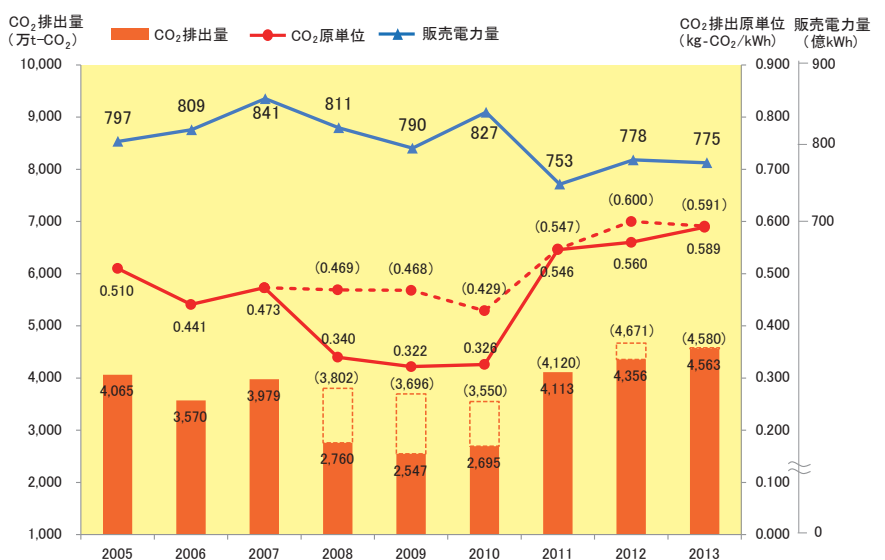
### ◆ 2013年度CO<sub>2</sub>排出実績

年度	2013	2012※
販売電力量 [億kWh]	775	778
CO <sub>2</sub> 排出量 [万t-CO <sub>2</sub> ]	4,563 (4,580)	4,356 (4,671)
CO <sub>2</sub> 排出原単位 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	0.589 (0.591)	0.560 (0.600)

( )内の値はCO<sub>2</sub>クレジット等を反映していない調整前CO<sub>2</sub>排出量/原単位

※ 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく実績。京都議定書第一約束期間(2008～2012年)向けに調達を進めたものの国連での審査遅れ等により当社への移転が2013年7月以降となるCO<sub>2</sub>クレジットを反映した2012年度のCO<sub>2</sub>排出原単位は0.554kg-CO<sub>2</sub>/kWh程度と若干改善する見込み(これを踏まえた京都議定書第一約束期間5カ年間の平均CO<sub>2</sub>排出原単位は0.414kg-CO<sub>2</sub>/kWh程度)。

### ◆ CO<sub>2</sub>排出実績と販売電力量の年度毎の推移



( )内の値はCO<sub>2</sub>クレジット等を反映していない調整前CO<sub>2</sub>排出量/原単位

### 2013年度のCO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出実績

当社は変電所のガス遮断器などの電力機器で使用される六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)など、地球温暖化への影響が大きいCO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスについても排出抑制に取り組んでいます。

### ◆ 当社のSF<sub>6</sub>の回収率、およびHFCの保有量・排出量 (2013年度実績)

SF <sub>6</sub>	【回収率】99.7 % 【用途】主にガス遮断器などの電力機器の絶縁材などに使用 【対策】SF <sub>6</sub> ガス回収装置を使用し、大気放出の防止に努める
HFC	【保有量】41.5t 【排出量】1,638t-CO <sub>2</sub> 【用途】主に空調機器の冷媒などに使用 【対策】機器設置・修理時の漏洩防止・回収・再利用に努める

※ SF<sub>6</sub>: 六フッ化硫黄  
HFC: ハイドロフルオロカーボン